

Rotary



丸岡ロータリークラブ会報

丸岡ロータリークラブ テーマ

R12650地区スローガン

「グローバル視野を持った
持続可能な社会を目指しロータリーは
世界をつなぐ伝統と革新
世界はひとつ

本日の例会

令和2年 4月27日(月) 休会中

幹事報告

《ガバナー事務所より》

- ①2019-20年度職業奉仕レポート提出のお願い
⇒竹澤職業奉仕委員長へ依頼中 5/8 まで
- ②次年度ディスカッションリーダー研修会延期
- ③2019-20年度社会奉仕事業報告書提出のお願い
⇒三寺社会奉仕委員長へ依頼中 6/4 まで
- ④2020-21年度 地区研修・協議会用 冊子
⇒4/12 中止のセミナー参加予定の理事へ配布
- ⑤会長エレクト研修セミナー (PETS) 資料
⇒杉本会長エレクトへ
- ⑥RYLA「本」⇒参加予定者へ発送済
- ⑦次年度 グローバル補助金奨学生募集資料

《その他》

- ①第48回ウイングカップソフトボール大会7月開催⇒中止

今後の予定

令和2年 5月 4日(月) 祝日
 令和2年 5月 11日(月) 休会
 令和2年 5月 18日(月) 休会
 令和2年 5月 25日(月) 休会

5月中もコロナウイルス感染拡大防止のため
休会します。〈理事会承認〉

福井県内下記ロータリークラブ例会情報

全クラブ、5月末まで(一部のクラブ6月末まで)
休会・ビジター受付のみも中止です。

近況報告お待ちしております(^)/

ニコニコ箱封筒「チョット一言」欄の長さのメッセージをメールまたはFAXで事務局まで。
毎週金曜日までに届いた内容を会報に掲載します。

理事会報告

4月27日(月)

書面にて採決を行いました。下記の議案が承認されました。

①5月のプログラムについて

②新型コロナウイルスの感染防止対策事業について

予定していた事業が中止せざるを得ない環境の中で、緊急事業として社会奉仕事業をいたします。

〈事業目的〉 新型コロナウイルスの感染を防ぐために、公的対応が行き届きにくい小規模障害者施設や、学校が再開されると密の環境になると共に登下校の際に移動が多い高校生の為に地元の丸岡・坂井両高校に不織布マスクを贈る。また、タイのスラム街では、新型コロナウイルスの影響で失業して困窮している住民に対して、布マスク製作することにより生計を維持してもらうプロジェクトが始まる。プロジェクトの主催者であるプラティープ財団に対して、布マスク製作用資材購入のための資金を援助する。

〈事業内容〉 ○小規模障害者施設 ・しいのみグループ 大人用 1,000枚、子供用 500枚
 ・かすみが丘学園 大人用 1,000枚 ○丸岡高校 5,000枚 ○坂井高校 5,000枚
 ○坂井市社会福祉協議会 1,000枚 (坂井青年会議所 他団体と合わせて3,000枚)
 以上、計13,500枚を寄付 ○プラティープ財団 マスク製作用資材購入資金提供 280,000円

③(付帯決議) 丸岡RC会員のマスク不足への対応について

入手できずに困っている会員へ購入先情報を提供する。

不織布マスク50枚入り1箱 3,500円(税込み) 購入希望の方は、事務局岡田までご連絡下さい。

皆さんこんにちは。お元気でしょうか。マスクで顔は覆われても、明るい目で、家族や社員には笑顔を与え続けたいですね。

さて、3月以降、例会や全ての事業が中止という事になり、非常に寂しいロータリーになりました。先般、書面での理事会を開催し、5月の例会もすべて休会とさせていただきました。6月以降は、未定であります。今後のウイルス感染の状況により判断したいと思います。

また、ロータリーとしてこういう時こそ、地域社会に対して何かしなくてはとの使命感にかられ、入手が未だに困難で不安を抱いている日頃のお付き合いのある団体にマスクの贈呈や、大不況に陥って生活困窮者が増大しているタイのスラム街の人たちへの支援を特別緊急事業として理事会に提案し賛成を得てスタートさせました。一部の会員の中からは、寄付を行う前に、まずはメンバーにマスクを配るべきであろうという声や、もっと会員から広く意見を募り、ロータリーとしての活動を展開したりすべきというご意見も頂きましたが、緊急性が問われる事態でもありましたので、今回は、このように緊急事業を進めさせて頂く形を取りました。

私は、ロータリアンが自ら拠出した浄財は、自らの利にはいけないという原則があると思います。また、自らがどんな困った時でも、他者への思いやりは絶対忘れてはならないと思います。まさしく、超我の精神こそがロータリーの真髄であると確信しています。何人かの会員が、仕事の傍ら、社会的弱者や地域社会の安全を守る団体に、自らのお金を使いマスクや除菌剤を大量に買い、寄付し続ける姿を目の当たりにしました。これこそロータリアンだと思います。こういう非常時こそ、我々の真価が問われているのではないかと思います。ロータリー活動が休止状態で時間ができた今こそ、一人一人が、人の為に社会の為に行動しましょう！

佐竹力総ガバナーより

4月15日(水)



思わぬ災難、新型コロナウイルス（COVID-19）による感染拡大の脅威が世の中を天国から地獄へ一変してしまいました。

当 2650 地区は地区運営におきましても当年度最大のイベント「地区大会」を中止、各地区委員会事業、各クラブ例会、周年事業、そしてこれまでロータリーの歴史の中で第一次、第二次世界大戦のさなかでも開催されてきたロータリー国際大会（ホノルル）までも、今期6月末までのすべての事業が中止。又、松原ガバナーエレクト年度の2020-21年度に向けた重要な行事「会長エレクト研修セミナー」「地区研修・協議会」もいずれも中止せざるを得ない、まさに深刻な事態となっています。私たちがこれまで経験しなかった想像だにできなかった事態が発生、いかに今、世界が最悪の危機に直面しているのを表していると思います。

私はガバナーとして、3月以降すべてのロータリー活動が中止になった非常事態に正直絶望感に襲われ、いままでのモチベーションが落ちていく虚脱感と戦っています。じゃあロータリーは見えない故、コロナウイルスに打つ勝つために、今何ができるのでしょうか？今できる唯一の事は、自らがウイルスに感染せず、人に感染させないことに最大限注意しながら、我らが生業を守ることではないでしょうか。このことが今できる最大の職業奉仕であり、社会奉仕であると考えます。しかしピンチはチャンスでもあります。

連日のコロナ騒ぎで人々の行動変容にて今までの価値観が変わりつつあるのではないのでしょうか。ある意味、ロータリーの今までの価値観を見直し、新たなロータリーの存在意義をじっくり考える時期でもあります。

マーク・マローニーRI 会長は、世界がかつてないほど分断されている今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです。私たちロータリアンは世界を、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人びとは手を取り合っつながりを築き行動する世界を目指していくことを提唱されています。これを踏まえて地区スローガンを「伝統と革新、世界はひとつ」とさせて頂きました。**コロナウイルス流行の中で、ロータリーに参加し続ける方法として、ZOOMをはじめロータリーオンラインツールを活用する良いチャンスでもあります。**

又、各クラブでは次年度も含めて地区補助金を活用して、新型コロナウイルス対応のために奮闘されている地元の医療従事者に寄贈する物資（フェイスシールド、体温計、医療用防護、室内清浄機、その他の物資）の購入といった地元の活動を支援できる事をお勧めします。

丸岡ロータリークラブ

会員数：34名 例会場：丸岡城のまちコミュニティセンター 例会日：毎週月曜日 19時00分
事務局：〒910-0251 福井県坂井市丸岡町一本田福所 22-24-3 東角建設(株) 2F
(月) 14時~18時 (火~金) 13時~17時

TEL 0776-67-0410 FAX 0776-67-4811 E-mail webmaster@maruoka-rotary.com

公共イメージ委員会 理事-上屋敷貴紀 会報委員会 委員長-副委員長-上屋敷貴紀
委員-八百山正栄 竹吉睦

